

3 映画監督やブロードウェイも 虜にした魅力的なドラマ

熱狂させたか、うかつか、知れよう。ブロードウェイと言え、昨年日本でも上演され、「ハリウッドと賢者の石」のクリス・コロンバ監督が映画化したミュージカル「RENT」が、実は「ラ・ボエーム」を原作に用いたことは有名な話。舞台をパリのカルチエ・ラランからニューヨークのイーストヴィレッジに移し、ヒロインが患う病を肺病からエイズに変えた「RENT」は、「ラ・ボエーム」のドラマと精神を現代に送ったものなのだ。このように「ラ・ボエーム」はオペラとミュージカルというジャンルの違いさえも乗り越え、多くの人々に愛され続けている。

映画『ラ・ボエーム』が 愛される秘密を解明する!

長きにわたって世界中の歌劇場で上演され続けてきた「ラ・ボエーム」の新作オペラ「ラ・ボエーム」が映画となって公開される。オペラ界の二人をアカデミー賞ノミネート監督が演出……見どころ満載の本作の魅力に迫る。文前原野園(アサヒ)シネマラボ

1 「ラ・ボエーム」は いわばオペラ界の『タイタニック』

ニューヨークの伝統ある歌劇場、メトロポリタン・オペラ(通称メト)。そのメトが開場以来、歴代最多上演回数誇るオペラ作品が、実は「ラ・ボエーム」なのだ。1909年の初上演以来、これまでの総上演回数は2009年1月の時点で、実に1200回以上! この数字は第2位「アイダ」の1100回を上回り、第3位「カルメン」の780回を大きく引き離す。「世界で最も上演回数が多いオペラ」と言われるゆえんだ。そんな輝かしい記録を持つ「ラ・ボエーム」の人気ぶりは、映画史に残る興行記録を打ち立てた「タイタニック」の人気ぶりに置き換えて考えてみるとわかりやすい。しかもビュナ純愛を描いた「泣ける悲劇」という点で見事に重なり合う。普通の恋愛のドラマは時と場所を越え、いつの時代も人の心を打つものなのだ。「タイタニック」と同様、オペラ史上最大のヒット作「ラ・ボエーム」もまた、誰からも愛されるオペラなのである。



2 アリアが豊富で華やか 美しい旋律に魅了される

「ラ・ボエーム」の音楽を書いたのは、ヴェルディと並んでイタリアを代表するオペラ作曲家のプッチーニ。フィギュラ・スケートの荒川静香選手が日本中を熱狂の渦に巻きこんだ、オペラ「トゥーランドット」のアリア「誰も寝てはならぬ」の作曲者だ。たとえオペラに詳しくなくても、長崎を舞台にしたオペラ「蝶々夫人」のアリア「ある晴れた日には」、誰でも一度は耳にしたこととはあるのでは? このように日本人に馴染みの深いプッチーニが、「トゥーランドット」や「蝶々夫人」以上に豊富なアリアを盛り込んだのが「ラ・ボエーム」なのだ。主人公ロドルフォが歌うアリア「冷たい手を」は、ハイCと呼ばれる超高音をテノール歌手が歌う難曲。そのハイCを歌手がバッチリ決めると、プッチーニ以外に誰も書けぬ華やかな美の世界が現れる。「誰も寝てはならぬ」の歌唱で有名なルチアーノ・パヴァロッティはロドルフォ役を生演の当たり役とし、「キング・オブ・ハイC」の名を欲しいままにしたという。

Asahi Shimbun **ぴあ** INFO-PACK

Giacomo Puccini La Bohème

Story 不治の病に引き裂かれる恋、心動かされる永遠の物語

クリスマス、イヴの夜。詩人ロドルフォ(ロランド・ビリヤゾン)と仲間のボヘミアンたちは薪を買う金もなく、屋根裏部屋で寒さに震えていた。仲間のひとりが稼いだ金を手にして戻り、「クリスマスだから街へ繰り出そう」とロドルフォたちを景気づける。原稿書きのため、ひとり部屋に残ったロドルフォのもとを、階下に住むお針子ミミ(アンナ・ネトレブコ)がろうそくの火を借りに訪れた。その彼女の冷たい手にロドルフォの手が触れた瞬間、ふたりは激しい恋に落ちるのだった。しかし、不治の病に冒されているミミを愛しているロドルフォはどうすることもできない。彼女のために別れを決意するロドルフォと、それを受け入れるミミ。果たしてミミの命は、そしてふたりの愛の行方は……?

今、旬のスター二人が共演! 映画『ラ・ボエーム』だからこそ 味わえる贅沢さ

お針子ミミ アンナ・ネトレブコ
 詩人ロドルフォ ロランド・ビリヤゾン

ヒロインのお針子ミミを演じるのは、現代最高の人気と実力を兼ね備えるロシア出身のアンナ・ネトレブコ。その華麗なる容姿は「オラゾワのオーダー・ヘアパーン」の異名を持つが、下積み時代に歌劇場で採録除のバイトをしてきたところを抜擢された逸話を持つシンデレラガールだ。その彼女と2005年のザルツブルク音楽祭で共演したスターの座を獲得したのが、詩人ロドルフォを演じるロランド・ビリヤゾン。「いま情熱的なテノールを聴くならこの人しかいない」という旬のテノールだ。昨年ロンドンでふたりが舞台で共演した「ラ・ボエーム」のチケットは、なんと30万円近いプレミアが付いたとか! その二人の美声と名演を映画館の入り場から楽しめるなんて、本当に贅沢なこと。再現された19世紀の都のセットを背景に一流の歌手たちが歌い上げる姿の迫力! 映画「ラ・ボエーム」だからこそ、より動きのある、濃厚な世界を堪能できるのだ。

儂い恋を永遠の美に変える—それが、オペラの魔法!

美しい映像とキャストの豊かな表現力がより一層の物語を美しく際立たせました。改めて声の力の素晴らしさを感じました。**檀 れい**

初演はラ・ボエームの悲恋に、ネトレブコとビリヤゾンの最高のコンビも演技も素晴らしい。新春の嬉しい贈り物です。**富士真奈美**

人気、実力とも当代の歌手による贅沢極まりない美声の競演。これぞ、オペラ映画の世界遺産といつてよい。**山本益博**

舞台の雰囲気はそのまま、より恋する二人の心情が胸を打つ。旬のオペラ歌手たちの美しさにうっとり。**吉行和子**

恥かしいほど涙が溢れる。哀切きまるプッチーニの音楽に踊る青春群像。若者の哀歌が画面一杯に溢った。**岡村喬生**

「願う声」だけが呼び起こす青春の苦い記憶。切ない想いを抱える人々にそ願ってもらいたい。**岸 純信**



珠玉のオペラが、詩情あふれる一幅の美しい映画になった。ボヘミアンたちの群像がパリの街に生き生きと息づく。**松本幸四郎**

「オペラを映画で観る。」とみるのか「無謀な冒険」と思うのかそれを「面白い映画」と確信まで頂戴した。私は前者、フー・ス・シ・ン・ハ・ら・ひ・き・ま・れ・ま・し・た。田淵久美子(アンナ・ネトレブコ)の歌声がすばらしい。

追分満点の音楽と19世紀初頭のパリを彷彿とさせる映像美に酔いしました。これはどこまで切なく、素晴らしい。ラ・ボエームに出演できて本当に幸せです。**假屋崎晋吾**

「瞬も見逃したくなくて、一言も聞き逃したくなくて……」折るうにたまたま人を見つめていました。**中村江里子**

ラ・ボエーム

現代最高のテノール ロランド・ビリヤゾン

天よ、運命よ。彼女を連れて行かないで。

laboheme.eiga.com

プッチーニ 生誕150周年 記念公開

マリヤ・カラスの再来 アンナ・ネトレブコ

2/14(土) ロマンティックに幕上がる!

テアトル シネマボックス タイムスクエア

03-5361-1937 www.cinemabox.com

全席指定 (観客数) 10:30 13:15 16:00 18:45

シネマボックス B.A.B.B.I.

047(305)3855

MOVIX 柏の葉

04(7135)6900

シネ・ギャラリー 公開

03(420)0559

新館高層 7階喫茶

ババカフェ 特別メニュー 2/14から展開

La Bohème Collaboration & Special menu

CA4LA 主人がミミをイメージしたヘッドレス 2/14から発売

KEIO PLAZA HOTEL 東京プラザホテル 宿泊プラン&歌舞伎ツアー

AUX BACCHANALES オペラ・カルテ 歌舞伎の舞台と音楽を交えた特別シアターフィルムをプレゼント

タカシマヤタイムスクエア レストランズパーク 「ラ・ボエーム」特別メニュー&サービス 2/14から展開

12階: スターカース/イトナクス/ハウスリアルファームル 13階: まるまる 観 カフェ/プレックカフェグループ 14階: クリオン